

■ 全体講評

IT ストラテジストの午後 I 試験は、記述式で 4 問中 2 問の選択になります。問 1 は、地方自治体の電子申請サービスについての問題、問 2 は、日用品卸売業者の物流業務についての問題、問 3 は、小売業の自動発注に関する問題、問 4 は健康管理サービスの企画についての問題です。このように、業種やテーマが広範囲にまたがって出題されています。自分の経験や知識の行かせるテーマを選んで解答することが大事ですが、あまり専門にこだわらずに、解答しやすい問題を選んでください。

試験では、問題を読んですばやく解答のしやすさや難易度を推定し、問題を選択する適切な判断が望まれます。それぞれ長文の問題を読んで、すぐに設問に答えなければならないので、時間が足りなくながちです。短時間で解答しやすい問題を選ぶのも、能力のひとつになります。設問をよく読んで「何が要求されているか」をすばやく理解することが重要です。そのためには、いきなり問題文を読むのではなく、まず設問から読むことが大切です。設問を読みながらポイントなところにアンダーラインを引いて、設問内容を意識しながら問題文を読むことが重要です。

出題者の意図をよく考えて解答することも重要です。設問で何が問われているのかを必ず確認し、ポイントになる内容を分かりやすく記述することです。今回の公開模試でも、設問で問われていないことを答えているものが多く見られました。

試験当日は、集中力、精神力、体力の勝負になるので、最後まであきらめずに必ず合格するという強い意識をもって臨むようにしましょう。

問1 地方自治体による電子申請対応計画の策定

【採点基準】

[設問]

- (1)市民のニーズに合ったサービスでないこと。費用が多くかかってしまったこと。それぞれ解答例の趣旨にあった解答であれば各 5 点。その他の答えは基本的に 0 点。
 (2)開発、運用コストが安いこと。迅速なサービス導入。それぞれ解答例の趣旨にあった解答であれば各 5 点。その他の答えは基本的に 0 点。

[設問 2]

- (1)その場で発行される利便性、費用がかからないこと。それぞれ解答例の趣旨にあった解答であれば各 5 点。そ

の他の答えは基本的に 0 点。

- (2)ネットで完結すること、印刷や電子署名が不要であること。それぞれ解答例の趣旨にあった解答であれば各 5 点。その他の答えは基本的に 0 点。

[設問 3]

- (1)利用者登録が不要であること。
 (2)既に住民基本台帳カードを利用していること。
 それぞれ解答例の趣旨にあった解答であれば各 5 点。その他の答えは基本的に 0 点。

【講評】

地方自治体の電子申請サービスの事例です。よく耳にするトピックで、取り組みやすい問題です。解答要点がとらえやすく正答率が高かったと思われます。

[設問 1]

- (1) 市民のニーズに合っていないサービス、費用がかかる点は押さえられていた解答が多かったです。費用については「手間」と「費用」を分けた解答が散見しました。
 (2) コストに関する解答の筋では、開発コストと運用コストを分離して二つの解答を書く人が見られました。導入の迅速さは解答として看過できません。注意しましょう。

[設問 2]

- (1) その場で証明書などが発行される利便性と費用がかからない旨はよく挙げられていましたが、一方の筋を細分化して二つ挙げている人も目立ちました。
 (2) ネット上での処理の完結、印刷や電子署名が不要という解答要点なのですが、その周辺の記述に着目してしまい要点がずれた解答が見られました。

[設問 3]

- (1) これはよく押さえられていて正解率は高かったです。
 (2) 字数に納めるのにいろいろな表現が考えられますが、ここでの趣旨が伝われば正解としました。

問2 物流業務の改善

【採点基準】

[設問 1]

- (1)在庫スペースの削減
 (2)一時的な在庫になること。
 解答例どおりであれば各 8 点。その他は、基本的に 0 点。

[設問 2]

(1)出荷実績と季節変動が解答要点。解答例どおりの表現であれば各 4 点。その他は 0 点。

(2)サンプル商品の必要数量の追加機能と管理機能が解答要点。解答例どおりの表現であれば各 4 点。その他は 0 点。

[設問 3]

交渉内容：注文をまとめた配送、あるいは注文回数の制限が解答要点。解答例どおりの表現であれば 6 点。その他は 0 点。

販売管理システム：注文回数が多いことが解答要点。解答例どおりの表現であれば 5 点。その他は 0 点。

在庫管理システム：少量多頻度配送が解答要点。解答例どおりの表現であれば 5 点。その他は 0 点。

【講評】

業務改善の問題です。日用品の卸売業者の物流業務の見直し、システムへの機能追加について、問われています。解答要点をしっかりと押さえれば高得点が期待できる問題です。

[設問 1]

(1) 特売用商品の在庫スペースの削減が一義的な効果です。これを含めた散漫な解答は減点としました。

(2) 特売商品が一時的に大量に在庫することを適切に解答する必要があります。その時の処理の様子など感覚的で要領を得ない解答が散見しました。

[設問 2]

(1) 出荷実績の傾向、季節変動という解答要点はよく押さえられていました。正答率は高かったと思われます。

(2) 問題文の文脈を読み解くと、サンプル商品にフォーカスする必要があります。サンプル商品の必要数量追加機能と管理機能のどちらかだけを解答している答案が多かったです。

[設問 3]

交渉内容：

複数の注文をまとめた配送、あるいは注文回数の制限を適切に解答した答案が多かったです。配送が多い場合に料金を請求するという旨の解答は明らかにやり過ぎです。費用の削減なので、設問の趣旨からずれていることに注意しましょう。

販売管理システム：

販売管理から「注文」に着目して解答します。解答要点を含んだ散漫な解答は 3 点にしました。

在庫管理システム：

在庫管理から「配送」に着目して解答します。解答要点を含んだ散漫な解答は 3 点にしました。

問3 小売業の自動発注導入計画

【採点基準】

[設問 1]

(1)チラシ等による特売がないこと、(2)担当者の感性、(3)最新のデータに基づく自動発注が解答要点。解答例と同様の場合それぞれ 6 点。その他は 0 点。

[設問 2]

(1)棚卸作業、(2)適切な正しい入力、(3)在庫データを修正しないこと、が解答要点。解答例どおりの解答の場合各 6 点。その他は、基本的に 0 点。

[設問 3]

(1)ノウハウがあまり溜まっていないこと、(2)売り場面積当たり一定の売上約束、が解答要点。解答例どおりの解答の場合各 7 点。その他は、基本的に 0 点。

【講評】

100 円ショップを題材とした自動発注導入計画の問題です。問題文の記述をしっかりとらえ、適切に分析した上で、問題を解決するポイントを探り、解答する必要があります。比較的取り組みやすい問題で、正答率は高かったと思われます。

[設問 1]

(1) 問題文の記述から「チラシ等の特売」というキーワードを抽出可能で、解答要点を押さえた解答は多く見られました。

(2) 問題文の記述から「各店舗の担当者の感性」というキーワードが抽出できます。これについては、解答要点を外した解答も多く見られました。

(3) 最新の販売データに基づくことに着目できても自動発注に結び付けて解答しないケースが多く見られました。

[設問 2]

(1) 棚卸作業という解答要点はよく押さえられていたが、他のことも書き加えた散漫な解答が見られました。注意しましょう。

(2) 問題文の記述に着目して POS レジ操作の問題を押さえられれば、解答要点をとらせることは可能です。正答率は高かったものと思われます。

(3) 返品時に在庫データを修正していない、不適切な処理の現状を解答します。要求とかみ合わない解答表現にならないよう、注意しましょう。

[設問 3]

(1) VMI に関する記述から解答要点にたどり着くことができます。これはたどり着けない人もかなり見られ、やや難しかったかも知れません。

(2) 問題文の記述をしっかりと押さえれば、解答要点

を抽出できます。不正確で散漫な解答表現が目立ったので、注意しましょう。

問4 健康管理サービス用ウェアラブル端末の商品企画

【採点基準】

〔設問 1〕

(1)は、健康計測機器の利用者に付加価値を提供すること。サービス提供開始までの期間短縮が解答要点。

解答例と同様の場合(1)は 8 点。(2)は 6 点。その他は 0 点。

〔設問 2〕

健康計測機器の測定データ収集が解答要点。解答例と同様の場合 8 点。その他は 0 点。

〔設問 3〕

(1)は健康管理サービス、健康計測機器が解答要点、解答例と同様の場合それぞれ 4 点。その他は 0 点。

(2)医療機関：蓄積されたデータ、専門的な医療指導が解答要点。解答例と同様の場合 6 点。その他は 0 点。

医療機関以外：蓄積されたデータ、適切な健康管理上のアドバイスが解答要点。解答例と同様の場合 6 点。その他は 0 点。

(3)は個人情報の削除・匿名化が解答要点。解答例と同様の場合 8 点。その他は 0 点。

【講評】

ウェアラブル端末を用いた健康計測機器、健康管理サービスに関する問題です。今、時流にある IoT 関連であり組込み系に馴染みがない方でも選択した人がいたように見受けられます。組込み系かどうかではなく、本問は解答要点をとらえにくい傾向があり、相対的にはやや難しかったと思われます。

〔設問 1〕

(1) そのものずばりが問題文に書いてあるわけではなく総合的に解答要点をまとめる必要があり難しかったと思います。

(2) 解答要点はとらえやすいのですが、表現として散漫な答えが目立ちました。端的に解答するようにしましょう。

〔設問 2〕

ウェアラブル端末と健康計測機器の連携という解答が目立ちました。「組み合わせて使用」するのでそれらは当たり前でその先をしっかりとらえる必要があります。

〔設問 3〕

(1) 問題文の文脈から解答要点は二つ抽出できます。散漫な解答が目立ち、正答率はあまり良くありませんで

した。

(2) 蓄積されたデータによる専門的な医療指導と健康管理上のアドバイスについて、適切に解答する必要があります。医療機関以外について医療指導という解答が見られました。医療機関外なのでから医療指導はできないのは明白です。うっかりとこうした根本的な誤答は書かないように注意しましょう。

(3) 解答要点を押さえられている人は少なかったです。個人情報の利用の同意を挙げた人が多かったのですがこれは既に問題文でケアされているので注意しましょう。

理解できていても解答表現がうまくないと減点される可能性があります。問題文の記述や重要なキーワードについては、敏感にとらえて解答するよう心がけてください。

以上